

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	ご意見
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の跡地を利用しているため、十分なスペースが確保されている。 ・広さは十分。広すぎる場合はパーティションなどで区切っている。 ・整理整頓に心掛け、できるだけ広くスペースを確保できるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりと密に接していける配置数である。 ・個々に応じ、マンツーマンで対応している。 ・利用人数に合わせ、その都度、職員配置を行っている。 ・職員の人数が多すぎると誰かが見ているだろうという思いから、見えない部分が多くなる。少ない方が責任感が出て意思疎通が図れる場合もある。 ・不足時は他部署からのフォロー体制が確保できている。 ・配置基準を満たしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・階段、トイレなどバリアフリー化されていない。 ・小学校の跡地であるためバリアフリー化は難しい。 ・仮設事業所であるが、できるだけ工夫と環境設定がなされている。 ・限られた環境の中、できる限り構造化や視覚支援を用いて、子どもたちにわかりやすいよう配慮している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔に保たれている。 ・建物が古いのでトイレなど使いづらい ・療育終了後、毎日使用、教室の清掃を行っている。 ・古い建物だが、スタッフでできる限りきれいを保っている。 ・遊戯室など、十分に運動できるスペースも確保している。 ・網戸がないため、虫や鳥が入ってくる。清潔に過ごせる様、掃除等は念入りに行っている。 ・遊戯室に運動用具があることで使いやすくなった。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行えていない。 ・日々の振り返りを大切にしている。 ・反省をもとに現在行っている。 ・定期的に会議を行い、子どもの支援に限らず、業務等についての話し合いも実施している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを配布し、意向を把握し改善につなげている。 ・今後実施していく。 ・事業所に掲示し、いつでも見れるようにしてある。 ・放課後等デイサービスは実施しているが、児童発達支援はまだ実施できていない。今年度実施予定。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス事業にて昨年度より実施している。 ・今後実施していく。 ・事業所に掲示し、いつでも見れるようにしてある。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・震災後であったため行えていない。 ・できていないため、今後必要である。 ・実施予定であったが、地震の影響でできていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修など行われている。 ・内部研修を半年かけ行っている。 ・事業所内研修、事業所外研修ともに充実している。 ・月1回の内部研修を行い、全職員が同じ内容の勉強ができるようにしている。 ・全6回のスキルアップ研修に参加。 ・今年度はスキルアップ研修が行われており、学ぶ機会が増えた。全員で受けることにより、療育の中に学んだことを取り入れやすくなった。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に行い、課題などを把握し計画につなげている。 ・個別面談を行い、子どもの状況・保護者のニーズを把握するように努めている。 ・家庭からの情報を基に支援計画を作成している。

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時にサポートブックをお渡しし、記入してもらう。 ・使用できていない。 ・サポートファイルを使用し、情報を共有している。 ・事業所で作成したアセスメントシートを活用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目を盛り込み、具体的に支援内容を設定している。 ・それぞれの支援内容に沿って、具体的な内容でわかりやすく設定されている。 ・療育センターの指導を参考に、8割達成できそうな目標にしている。 ・児発管研修でも推奨されている通り、発達支援2項目、家族支援1項目、地域支援1項目で支援計画を作成している。 ・家族支援では、家庭で使える支援グッズの作成や手指訓練グッズを作成している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの計画書を読み、周知し、支援を行うようにしている。 ・支援に携わるスタッフ全員が意識して支援を行っている。 ・支援計画の確認を密に行っている。 ・クラスにボードを設置し、どのような支援を行うが、みんなが見て確認できるようにしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てる時から話し合いができています。 ・チームで案を出し合うことができています。 ・毎日、チームで行われている。 ・話し合いを行っていない時がある。 ・前年度のプログラムやその時期ならではの行事を参考にしながら話し合っ立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月見直し、同じ内容にならないよう気を付けている。 ・毎日利用の児童もいるため、プログラムが固定化しないよう工夫している。 ・色々な内容が盛り込まれ、工夫されている。 ・毎月上旬に話あっている。 ・季節行事等も取り入れながら色々な経験ができるよう工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状況に合わせて対応できている。 ・児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせ合わせた計画を作成している。 ・一人ひとりに応じた支援計画を作成してある。 ・毎日少しずつ工夫して変化をつけている。 ・個別で行う手指訓練や制作活動、集団で行う運動等も含めたプログラムや支援計画を作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント等で確認している。 ・活動のシミュレーションや役割分担を確認することが出来ている。 ・随時、打ち合わせが行っている。 ・毎朝、10分程度ではあるが行っている。 ・職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施している。 ・送迎に時間がかかるようになったため、パートさんたちの出勤時間よりも前にも出ることも多くなり、みんなで揃って打ち合わせすることが難しくなった。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援で成功した点や工夫が必要な点などを出し合い、翌日の支援につなげている。 ・毎日、しっかりと一人ひとりの振り返りを行っている。 ・一人ひとりの振り返りは記述し、職員で共有できるようにしている。 ・1時間ほど行い、次の日に活かしている。 ・送迎に時間がかかり、パートも含めた上で全体での話し合いは出来ていない時もある。 ・振り返りシートを作成。共有する必要がある事項は部屋のボードに記入。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡帳、振り返りを行っている。 ・気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等も記録している。 ・記録に残し、振り返って検証することにも努めている。 ・話し合った内容を記録している。 ・振り返りを行い、改善点などについてはホワイトボードで確認できるよう工夫している。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との振り返りを行ったうえで見直しを行っている。 ・定期的に個別支援会議を行い、児童の状況把握を行っている。 ・定期的なモニタリングを実施し、保護者面談にて同意を得た上で見直ししている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームリーダーが意見をまとめ、子どもの状況を把握し参加している。 ・児発管だけでなく、担当者も出席し、情報共有できるよう努めている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センター、保育園、幼稚園との連携をとっている。 ・情報共有した上での支援を心掛けている。 ・相談員さんや行政、園と連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・今は対象児童がいない。 ・関係機関との情報共有を図り、医療に必要なデータ収集の為に24時間体制でのデータ収集なども行ってきた(関係機関で協力して)
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・今は対象児童がいない。 ・同法人(同グループ)に協力医療機関があるため、常に連絡をとれる体制を整えている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に話をする事ができている。 ・就園先への情報の交換、現在行っている支援の申し送りを行っている。 ・未就園児が就園する際には、申し送り等や今後の利用体制等も含めた会議を実施している。 ・引越し等で他県にいかれる場合は、申し送り書を作成したり、近くであれば、申し送り会議を行うようにしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りがあり、情報共有しあっている。 ・年長児では、進学先の小学校や小学部との申し送りを行っている。 ・年長児は必ず小学校への申し送りを実施している。 ・夏休み期間を利用し、申し送り会議を実施している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修を受けている。 ・定期での訪問支援を受けている(保育士・ST・心理士) ・地域のスキルアップ研修や他の研修での交流や情報提供などに努めている。 ・県療育センターからの定期支援を受けている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流会や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・交流できる機会を持つことができていない。 ・未就園の児童では、その活動は得られていない。 ・同法人の保育園児との交流(お祭り屋さんごっこ)等も実施してきた。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て支援会議等へ積極的に参加しているか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できている。 ・担当職員が参加をしている。 ・積極的に参加できている。 ・子ども部会には必ず参加している。 ・施設管理者が協議会の委員になっているため、情報共有することができている。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時に伝えることができている。 ・送迎時や連絡帳を活用し共通理解を持っている。 ・気にかけて声かけするようにし、情報の共有に努めている。 ・送迎時にお会いできない保護者とは、連絡帳やお電話で情報共有している。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を開始している。 ・家族勉強会を月1回行っている。 ・保護者の状況を見ながら、できるだけ伝えている。 ・研修に参加し、得た情報をもとに話している。
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時等に行っている。 ・契約時に丁寧な説明がなされている。 ・契約時、アセスメントをとるときと一緒に確認している。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談を行い、保護者から同意を得ている。 ・個別支援計画を作成し、面談を行い同意を得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に会った時にお話したり、連絡帳にて話を聞いている。 ・保護者の気持ちのケアを第一に考えている。 ・定期的面談以外でも必要に応じ、随時、保護者からの相談を受けている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会を実施している。 ・交流の場として座談会を行っている。 ・家族勉強会や座談会を設け、保護者同士の交流を支援している。 ・事業所説明会後に懇談会を開催し、連携の場を作っている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容に応じて適任の者が対応している。 ・迅速な対応を心掛けている。 ・申し入れがあったときには、すぐに上司に相談し、対応している。 ・いつでも相談に対応できる体制を整えている。また、療育後に振り返りや保護者からの相談の時間もつくれることも周知している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者向けに対して発信しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月おたよりを発行している。 ・おひさまだよりを毎月発行し、クラスの様子を伝えている。 ・毎月、活動プログラム等のおたよりを配布するとともに、連絡網も活用し、電子媒体にて一斉に情報発信できるようにしている。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりなど、写真を加工し、顔を見えないようにしている。 ・事業所外に情報を持ち出さないよう配慮すると共に、守秘義務を遵守している。 ・保管場所を決めている。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性などを把握した上で配慮している。 ・しっかり話して、相手の心を読むよう努力している。 ・保護者の方へも個別にお伝えしたり、他のご家族にもお伝えする等、配慮している。
非常時等の	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加等行っている。 ・秋祭りの開催。 ・法人のお祭り等の案内をしたりしている。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成し、取り組んでいる。 ・感染症対応に関しては流行時期に合わせて対応方法のシュミレーションを行っている。 ・マニュアルは策定してあるが、保護者への周知や訓練などは実施されていない。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施できている。 ・定期的に地震・火災を想定した訓練を実施している。 ・委員会を中心に活動している。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング等で必要な情報を聞き、把握するようにしている。 ・事前に処方箋をもらうようにしている。 ・利用開始時は丁寧なアセスメントを心掛けている。 ・保護者から薬についての説明書をもらうとともに説明を聞いている。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり保護者より聞き、対応している。 ・アレルギー調査票にて確認を行い、情報共有している。 ・利用開始時に丁寧な聞き取りと同意書も提出してもらっている。 ・医師の診断書の写しをもらい対応している。

対応	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月提出し集計して配布・共有している。 ・ヒヤリハット委員会を通し、事例・解決策を共有している。 ・会議で事例を取り出し、対応について話し合う機会を持つ。 ・クラスで検討会をし、まとめている。 ・毎月全体の事例を配布し、読み込んでいる。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルがある。 ・虐待防止委員会を設置している。 ・職員研修は充実している。 ・虐待防止委員会を中心に虐待防止マニュアルに沿って対応している。 ・職員研修やケース検討会議を通して、1つ1つ事例について話し合っている。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を行うに値する児童はいない。 ・契約時に口頭では話をしたりするが、今後、同意書等も考えていく。 ・身体拘束を行う対象児童がいなかったため行ってない。 ・身体拘束を行う状況等についての説明は利用開始前に行っている。支援計画への記載と同意書作成はできていない。
合 計			301	55	20	

平成29年度 児童発達支援自己評価

